

～きっと見つかるきみの一冊～

いわての中高生のための おすすめ図書100選

「いわ100(いわひゃく)」と呼んでください。



岩手県教育委員会

「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」選書委員会



委員長 選書委員

前盛岡大学学長

望月善次

「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」(愛称「いわ100」)をお届けします。色々な分野から選ばれた選書委員の中には、みなさんの代表でもある「中高生選書委員」も含まれています。また、100冊の中には、選書委員が選んだものばかりでなく、広く県民のみなさんからの「おすすめ図書」も含まれています。

ところで、人と人との出会いには、色々な場合があり、人間の知恵を越える「運命的」と呼ぶしかないものですが、或る人と本との出会いにもまた、様々な場合があり、これも「運命的」と呼ぶしかないものだと思います。

今回のこの小さな試みが、そうしたみなさんの「様々な場合」の一つになればというのが私達の切なる願いです。私達は、勿論、今回のような試みには限界があることも自覚しています。「この100選は違うなあ。」「私ならこういう100選にする。」「同じ本でも私の感想はこうなる。」などの意見もあると思います。

そのような思いを巡らせながら、それぞれの方がそれぞれの「自分自身の100冊」リストを作ってもらえるなら、私達としてもどんなに嬉しいことでしょう。

「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」
を手にしたみなさんへ

岩手県教育委員会 教育長

読書活動は、言葉の力をはぐくみ、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにする大切な営みです。本県の児童生徒の読書活動状況調査によれば、年々読書冊数は増加傾向にあるものの、学年が上がるにつれ、読書をしない人の割合が大きくなっていきます。

このような状況をふまえ、生徒のみなさんが、読書の楽しさを味わうことができるよう、「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」(愛称「いわ100」)を作成し、配付することとしました。

中高生を含む、様々な分野の方々で構成された選書委員会が、「この本を是非、岩手の中高生に読んでほしい。」という願いを込めて選りすぐった図書が、8つのテーマにわたって掲載されています。

学校や家庭、地域など、いろいろな場面で「いわ100」が活用され、みなさんの読書活動が一層盛んになることを期待しています。

一冊の本との出会いが、人の生き方をより豊かなものにするきっかけとなります。この「いわ100」が、素敵な、そしてかけがえない本との出会いを促す役割を担うことができれば幸いです。



きょうちゃん しんちゃん
教育振興運動
イメージキャラクター

教育振興運動とは子ども、親、学校、地域、行政の5者が連携を図り、地域の教育課題を解決する岩手県独自の教育運動です。

「いわ100」を
岩手の中高生のみなさんに!!

「いわ100」は、8つのテーマの下に100冊を掲載しています。

- 〔選書テーマ1〕
人とのつながり・友情・愛を考える
- 〔選書テーマ2〕
よのなか・社会を考える
- 〔選書テーマ3〕
この人の生き方から学ぶ
- 〔選書テーマ4〕
不思議な世界を冒険できる
- 〔選書テーマ5〕
科学の魅力を教えてくれる
- 〔選書テーマ6〕
ユーモアを味わうことができる
- 〔選書テーマ7〕
読書の楽しみに目覚める
- 〔選書テーマ8〕
岩手県の作家・舞台を読む

また、次の点にも取り組みました。

- 「岩手の中高生自身がおすすめる図書」を反映させました。
- 「県民のみなさんが中高生に読んでほしい図書」を反映させました。
- 「本県出身の作家が執筆した図書や本県を舞台にした作品」を反映させました。



「やろうよ!」「読もうよ!」とは教育振興運動で取り組んでいる全県共通課題「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」のロゴマークです。

※掲載図書は、中高生が手にしやすい書籍のタイプ(サイズ等)を優先して
います。
また、諸事情により、表紙を掲載することができない図書があります。

発行にむけて

「いわーO」を右手の中高生のみなさんに!!

【選書テーマ】「人とつながり・友情・愛を考える」

- 1 きみの友だち
- 2 にこりえ・たけくらゐ
- 3 きみが見つける物語
- 4 砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない
- 5 4 T E E N
- 6 風が強く吹いている
- 7 塩の街
- 8 退出ゲーム
- 9 ほくは悪党になりたい
- 10 暗いところまで待ち合わせ
- 11 砂漠
- 12 ほくらの七日間戦争
- 13 パッテリー

【選書テーマ】「みのなか・社会を考える」

- 14 18歳からのマナー・ブック
- 15 「悪い子」にたどり着くための
- 16 この世でいちばん大事な「カネ」の話
- 17 医療のこころ、もっと知ってほしい
- 18 職人を生きて
- 19 世界から貧しさをなくす30の方法
- 20 家を出る日のために
- 21 ギャル農業
- 22 14歳からの社会学
- 23 伝える力
- 24 世界を信じるためのメッセージ
- 25 席を立たなかつたクローデット



気になる本、読んだ本、友だちにすすめたい本など、チェック欄を活用してみましょう。

【選書テーマ】「この人の生き方から学ぶ」

- 26 竜馬がゆく
- 27 プロフェッショナル 仕事の流儀
- 28 いつまでもいつまでも元気
- 29 琉璃色の星
- 30 ポクの音楽武者修行
- 31 新編イチャロ物語
- 32 まだ17歳だけど、人生って面白いと思う
- 33 アンネの日記
- 34 現代語訳 論語
- 35 がけつづぶちナース
- 36 マザー・テレサ
- 37 五体不満足
- 38 約束の国への長い旅

【選書テーマ】「不思議な世界を冒険で体験」

- 39 妖怪アパートの幽雅な日常
- 40 獣の奏者
- 41 忘れられた島
- 42 13か月と13週と13日と満月の夜
- 43 時の書
- 44 ハリリー・ポッターと死の秘宝
- 45 モモ
- 46 トムは真夜中の庭で
- 47 プレイブ・ストーリー
- 48 西遊記
- 49 ビーバー族のしるし
- 50 ダ・ヴィンチ・コード
- 51 ともしびをかかて

C O N T E N T S

【選書テーマ】「科学の魅力を教えてくれる」

- 52 おもちゃへの理科
- 53 へんないきもの
- 54 ファールル尾中記
- 55 手田への秘密の鍵
- 56 脳のはたらきがわかる本
- 57 生きた地球をめぐる
- 58 時間とは何か
- 59 動物の「ヒツツ」
- 60 今森光彦 ナイチャーフォート・ギャラリー
- 61 科学の扉をノックする
- 62 空想科学読本
- 63 ワンワン

【選書テーマ】「ユーモアを味わいたいかなげばいい」

- 64 坊っちゃん
- 65 オチン
- 66 佐賀のかばいばあちゃん
- 67 フナイ・ダディ・フライ
- 68 ショート・トリップ
- 69 ボタンカル・ライフ
- 70 あらしのよるにシリース
- 71 星新一ショートショート1001
- 72 おぼろの笑話図書館
- 73 チョコレート工場秘密
- 74 鹿男あをによし
- 75 生徒の日記



【選書テーマ】「若手作家・舞台を読む」

- 76 死神の精度
- 77 神様のカルテ
- 78 東京タワー
- 79 岳物語
- 80 サクリファイス
- 81 夏の庭
- 82 ほくは勉強ができない
- 83 階段途中のビッグ・ノイズ
- 84 直筆で読む「人間失格」
- 85 レインツリーの国
- 86 ミタカくん私
- 87 しゃばけ
- 88 卵の緒
- 89 夏は勉強ができない
- 90 神様のカルテ
- 91 死神の精度
- 92 東京タワー
- 93 岳物語
- 94 サクリファイス
- 95 夏の庭
- 96 ほくは勉強ができない
- 97 階段途中のビッグ・ノイズ
- 98 直筆で読む「人間失格」
- 99 レインツリーの国
- 100 ミタカくん私
- 101 しゃばけ
- 102 卵の緒
- 103 夏は勉強ができない
- 104 神様のカルテ
- 105 死神の精度
- 106 東京タワー
- 107 岳物語
- 108 サクリファイス
- 109 夏の庭
- 110 ほくは勉強ができない
- 111 階段途中のビッグ・ノイズ
- 112 直筆で読む「人間失格」
- 113 レインツリーの国
- 114 ミタカくん私
- 115 しゃばけ
- 116 卵の緒
- 117 夏は勉強ができない
- 118 神様のカルテ
- 119 死神の精度
- 120 東京タワー
- 121 岳物語
- 122 サクリファイス
- 123 夏の庭
- 124 ほくは勉強ができない
- 125 階段途中のビッグ・ノイズ
- 126 直筆で読む「人間失格」
- 127 レインツリーの国
- 128 ミタカくん私
- 129 しゃばけ
- 130 卵の緒
- 131 夏は勉強ができない
- 132 神様のカルテ
- 133 死神の精度
- 134 東京タワー
- 135 岳物語
- 136 サクリファイス
- 137 夏の庭
- 138 ほくは勉強ができない
- 139 階段途中のビッグ・ノイズ
- 140 直筆で読む「人間失格」
- 141 レインツリーの国
- 142 ミタカくん私
- 143 しゃばけ
- 144 卵の緒
- 145 夏は勉強ができない
- 146 神様のカルテ
- 147 死神の精度
- 148 東京タワー
- 149 岳物語
- 150 サクリファイス
- 151 夏の庭
- 152 ほくは勉強ができない
- 153 階段途中のビッグ・ノイズ
- 154 直筆で読む「人間失格」
- 155 レインツリーの国
- 156 ミタカくん私
- 157 しゃばけ
- 158 卵の緒
- 159 夏は勉強ができない
- 160 神様のカルテ
- 161 死神の精度
- 162 東京タワー
- 163 岳物語
- 164 サクリファイス
- 165 夏の庭
- 166 ほくは勉強ができない
- 167 階段途中のビッグ・ノイズ
- 168 直筆で読む「人間失格」
- 169 レインツリーの国
- 170 ミタカくん私
- 171 しゃばけ
- 172 卵の緒
- 173 夏は勉強ができない
- 174 神様のカルテ
- 175 死神の精度
- 176 東京タワー
- 177 岳物語
- 178 サクリファイス
- 179 夏の庭
- 180 ほくは勉強ができない
- 181 階段途中のビッグ・ノイズ
- 182 直筆で読む「人間失格」
- 183 レインツリーの国
- 184 ミタカくん私
- 185 しゃばけ
- 186 卵の緒
- 187 夏は勉強ができない
- 188 神様のカルテ
- 189 死神の精度
- 190 東京タワー
- 191 岳物語
- 192 サクリファイス
- 193 夏の庭
- 194 ほくは勉強ができない
- 195 階段途中のビッグ・ノイズ
- 196 直筆で読む「人間失格」
- 197 レインツリーの国
- 198 ミタカくん私
- 199 しゃばけ
- 200 卵の緒
- 201 夏は勉強ができない
- 202 神様のカルテ
- 203 死神の精度
- 204 東京タワー
- 205 岳物語
- 206 サクリファイス
- 207 夏の庭
- 208 ほくは勉強ができない
- 209 階段途中のビッグ・ノイズ
- 210 直筆で読む「人間失格」
- 211 レインツリーの国
- 212 ミタカくん私
- 213 しゃばけ
- 214 卵の緒
- 215 夏は勉強ができない
- 216 神様のカルテ
- 217 死神の精度
- 218 東京タワー
- 219 岳物語
- 220 サクリファイス
- 221 夏の庭
- 222 ほくは勉強ができない
- 223 階段途中のビッグ・ノイズ
- 224 直筆で読む「人間失格」
- 225 レインツリーの国
- 226 ミタカくん私
- 227 しゃばけ
- 228 卵の緒
- 229 夏は勉強ができない
- 230 神様のカルテ
- 231 死神の精度
- 232 東京タワー
- 233 岳物語
- 234 サクリファイス
- 235 夏の庭
- 236 ほくは勉強ができない
- 237 階段途中のビッグ・ノイズ
- 238 直筆で読む「人間失格」
- 239 レインツリーの国
- 240 ミタカくん私
- 241 しゃばけ
- 242 卵の緒
- 243 夏は勉強ができない
- 244 神様のカルテ
- 245 死神の精度
- 246 東京タワー
- 247 岳物語
- 248 サクリファイス
- 249 夏の庭
- 250 ほくは勉強ができない
- 251 階段途中のビッグ・ノイズ
- 252 直筆で読む「人間失格」
- 253 レインツリーの国
- 254 ミタカくん私
- 255 しゃばけ
- 256 卵の緒
- 257 夏は勉強ができない
- 258 神様のカルテ
- 259 死神の精度
- 260 東京タワー
- 261 岳物語
- 262 サクリファイス
- 263 夏の庭
- 264 ほくは勉強ができない
- 265 階段途中のビッグ・ノイズ
- 266 直筆で読む「人間失格」
- 267 レインツリーの国
- 268 ミタカくん私
- 269 しゃばけ
- 270 卵の緒
- 271 夏は勉強ができない
- 272 神様のカルテ
- 273 死神の精度
- 274 東京タワー
- 275 岳物語
- 276 サクリファイス
- 277 夏の庭
- 278 ほくは勉強ができない
- 279 階段途中のビッグ・ノイズ
- 280 直筆で読む「人間失格」
- 281 レインツリーの国
- 282 ミタカくん私
- 283 しゃばけ
- 284 卵の緒
- 285 夏は勉強ができない
- 286 神様のカルテ
- 287 死神の精度
- 288 東京タワー
- 289 岳物語
- 290 サクリファイス
- 291 夏の庭
- 292 ほくは勉強ができない
- 293 階段途中のビッグ・ノイズ
- 294 直筆で読む「人間失格」
- 295 レインツリーの国
- 296 ミタカくん私
- 297 しゃばけ
- 298 卵の緒
- 299 夏は勉強ができない
- 300 神様のカルテ
- 301 死神の精度
- 302 東京タワー
- 303 岳物語
- 304 サクリファイス
- 305 夏の庭
- 306 ほくは勉強ができない
- 307 階段途中のビッグ・ノイズ
- 308 直筆で読む「人間失格」
- 309 レインツリーの国
- 310 ミタカくん私
- 311 しゃばけ
- 312 卵の緒
- 313 夏は勉強ができない
- 314 神様のカルテ
- 315 死神の精度
- 316 東京タワー
- 317 岳物語
- 318 サクリファイス
- 319 夏の庭
- 320 ほくは勉強ができない
- 321 階段途中のビッグ・ノイズ
- 322 直筆で読む「人間失格」
- 323 レインツリーの国
- 324 ミタカくん私
- 325 しゃばけ
- 326 卵の緒
- 327 夏は勉強ができない
- 328 神様のカルテ
- 329 死神の精度
- 330 東京タワー
- 331 岳物語
- 332 サクリファイス
- 333 夏の庭
- 334 ほくは勉強ができない
- 335 階段途中のビッグ・ノイズ
- 336 直筆で読む「人間失格」
- 337 レインツリーの国
- 338 ミタカくん私
- 339 しゃばけ
- 340 卵の緒
- 341 夏は勉強ができない
- 342 神様のカルテ
- 343 死神の精度
- 344 東京タワー
- 345 岳物語
- 346 サクリファイス
- 347 夏の庭
- 348 ほくは勉強ができない
- 349 階段途中のビッグ・ノイズ
- 349 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭
- 350 ほくは勉強ができない
- 350 階段途中のビッグ・ノイズ
- 350 直筆で読む「人間失格」
- 350 レインツリーの国
- 350 ミタカくん私
- 350 しゃばけ
- 350 卵の緒
- 350 夏は勉強ができない
- 350 神様のカルテ
- 350 死神の精度
- 350 東京タワー
- 350 岳物語
- 350 サクリファイス
- 350 夏の庭

いつだって、あなたがいて、私がいる。だから、「必修科目」となる。

人とのつながり・友情・愛を考える



執筆：阿部暁子、山本正子、伊澤由華、佐藤まゆ、高橋亜彩乃（選書委員）
高谷安希子、照井涼香（小グループ委員）

選書テーマ1

1 きみの友だち

重松清 / 著

八人の「きみ」が奏でる物語に、真の「友だち」をみる。

「友だち」とは何なのか、「きみ」とは誰なのか。誰でも一度は感じたことがあるであろう気持ちや葛藤を、登場人物たちが共有してくれる。自分の弱さを痛感させられる一冊です。八人の「きみ」の中にあなたが居るかもしれません。



©新潮社

2 にごりえ・たけくらべ

樋口一葉 / 著

明治文学の金字塔。世代を超え語り継ぐ儂くも切ない物語。

赤い絹ハンケチ、紅葉柄の友染、静かに咲きほこる水仙の花。美しく、清らかな少女美登利の淡い恋模様を描かれています。いつの時代も、人を想う気持ちは変わりません。明治文学史上最高の名作、儂くも輝いた日々共感してみませんか。



©新潮社 / 河出書房新社、岩波書店

3 きみが 見つける物語

角川文庫編集部 / 編

とびきり旬な物語。今こそ読みたい作家が集結。

この本には、いろいろな短編が入っているので読みやすく、読書が苦手な方でも楽に読める本になっています。スクール編、放課後編、友情編、休日編、恋愛編、切ない話編、不思議な話編、オトナの話編などの計十種類のシリーズがあります。自分の気になる本から手に取って読んでみてください。



©角川書店

4 砂糖菓子の弾丸は 撃ちぬけない

桜庭一樹 / 著

実弾がほしい。自分で生活できる力。本当の力。

生き残った子供だけが、大人になる。中学生のなぎさは、自分のことを人魚だと言っ不思議な転校生、濠洲と出会います。大人になることを戦いに例え、痛みを抱えながら生きる一人の心の複雑さは、多くの中高生が共感できるものだと思います。



©角川書店

6 4 TEEN

石田 衣良／著

仲間とは何なのか、あなた自身の答えが見つかる一冊。

ナオト、ダイ、ジュン、テツロ。十四歳、中学二年の同級生四人は、一人では出来ないと思う事も四人の仲間と共に乗り越えて立ち向かっていきます。仲間、友情、恋とは…。あなたもこの四人と共に問題を解決しながら青春を思い切り楽しんでみませんか。



©新潮社

6 風が強く吹いている

三浦 しをん／著

「速く」よりも「強く」なりた。青春一直線の駅伝小説。

お正月の「箱根駅伝」を見たことはありますか？総距離2000如余りの奇酷なレースに挑む、十人の大学生の物語です。十人のほとんどが駅伝経験なし、補欠もなしの無名チーム。それでもどこまでも一生懸命な十人がたすきをつないだ時、奇跡が起こります。



©新潮社

7 塩の街

有川 浩 著

少女と青年の恋が、崩壊しゆく世界の運命を変える。

人体が塩化し死に至る「塩害」が、人々を襲う世界。塩害で家族を失った真奈は、秋庭という青年に助けられ二人で暮らし始めますが、やがて秋庭は塩害の元凶である隕石の破壊作戦に赴きます。明日の保証のない世界で、大切な人のため戦う少女と青年の恋愛小説です。



©アスキー・メディアワークス刊

6 退出ゲーム

初野 晴／著

青春フルエンジン、「ハルチカ」コンビの謎とき事件簿！

弱小吹奏楽部に所属する元氣いっぱいの子カと、幼なじみの頭脳明晰だけどちょっと情けないハルタ。吹奏楽界の最高峰「普門館」をめざして奮闘する二人は、なぜか校内で起こる難事件に次々と巻きこまれるはめに。笑えてじんとくる吹奏乐的青春ミステリーです。



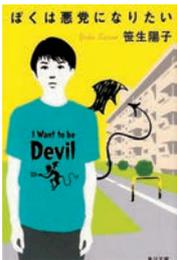
©角川書店

6 ぼくは悪党になりたい

笹生 陽子／著

しがらみのない自由な世界。脱出、解放、開けゴマ！

中高生だって色々ありますよね。主人公のエイジ（十七歳、未婚の母と異父弟の三人暮らし、家事全般担当）も何かと悩める日々。きつと「あーわかる」と頷くところがあるとします。時には全部投げ出したくなるけれど、何とかがんばっていく少年の物語です。



©角川書店

10 暗いところで待ち合わせ

乙／著

いつでも自分に素直でいよう。孤独な人なんていないから。

全く関わりのなかった男女、アキヒロとミチルが殺人事件をきっかけに引き合わされてしまいます。奇妙な同棲生活の中で生きる事や孤独というもの、また人と関わる事などを前向きに受け止めていく姿が感じられます。二人は、最後、どんな関係になるかドキドキ…。



©幻冬舎

へ〜! そうなんだ。こんな仕組みがあったんだ。

よのなか・社会を考える?!



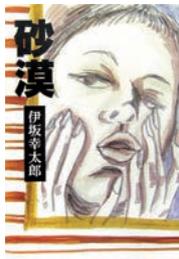
執筆：姉帯裕子、菊池幸子（選書委員）



©新講社

学校でのほぼ同年代の人間関係から社会人になると、世代をこえた幅広い人間関係が生まれます。その際、社会人として自立するためにはどうすればいいか? 「自分さえよければ」といった考え方がなぜ通用しないのか、身なりや挨拶を注意されるのはなぜか、といった事柄に著者が答えてくれる本です。

14
もうすぐ社会に出る
18歳からのマナー・ブック
多湖輝 / 著
正しいマナーの知識はあなたの自信と力になります!



©新潮社

11
砂漠
伊坂 幸太郎 / 著
輝けるオアシスの記憶は、砂漠でもぼくらを守るだろう。
タイトルの「砂漠」はいずれみなさんが旅立つ社会のこと。これは砂漠の手前である「オアシス」、大学が舞台のお話です。一生の間との出会いがあり、バカみたいなことに一生懸命になって、こいつらとなら砂漠へ出てもやっつけていける。そんな勇気の出る物語です。



©ポプラ社

12
ぼくらの七日間戦争
宗田 理 / 著
大人対子供の戦い。熱い青春がここにある。
大人を相手に反乱を起こした中学生たちの、七日間の大戦争。大人VS子供という対立を描いてはいますが、読後感はずわやかです。刊行から25年以上たっても色あせることなく、現役の中学生にも大人気。ぜひとも十代のうちに出会ってほしい一冊です。



©角川書店

13
バッテリー
あさの あつこ / 著
友情や信頼って、プライドって、何だろう?
天才少年ピッチャー・巧と、彼とバッテリーを組む同級生・豪。これまでの「スポ根」ものとは明らかに違う主人公たちの成長を、とにかく最後まで見届けたくありません。野球を知らなくても楽しめる、児童書の枠を超えた青春小説の傑作です。

15 「悪いこと」したら、どうなるの??」
天網恢恢疎にして漏らさず」
※天網恢恢(てんもうかいかい) 疎(ゆる)にして漏らさず(こぼさず)

藤井 誠 / 著 武富 健治 / 漫画

少年が起こした事件は「少年法」によって非公開とされています。被害者やその家族にも事件の詳細は知らされません。では仮に少年が殺人を犯しても「死刑」にはならないのでしょうか? 一定期間、更生施設にいれば犯した罪は消えるのでしょうか? 成人になる前に「悪いこと」のその後について考えてみませんか?

※罪科(とらひ)の字を補(おぎな)うられ、天罰(あまのつゐ)を致(いた)すことなり。



18 職人を生きる

鮫島 敦 / 著

あなたの知らない職人の世界へご招待。

就職難のため、職人に憧れる人が増加傾向にあると言われる昨今ですが、では、職人になるにはいったいどうすればよいのでしょうか。実際の仕事の様子や、職人として働く人たちの本音がリアルに語られ、職人に限らず、社会人になる上で大切な教訓もじっくり伝授してくれます。



©岩波書店

16 この世でいちばん大事な「カネ」の話
※カネ(かね)は金(かね)の古(ふる)い字(あざな)。

西原 理恵子 / 著

この本で著者はお金と生きることが、いかにつながっているかをきれいなことではなく訴えています。友人や身内の不幸、美術大学での実体験をもとに書かれているので、非常に臨場感があります。時に迫力ある表現があります。自分の生活とお金との関わり、お金をどこから得て、どの位必要か考えてみるのもいいかもしれません。



19 世界から貧しさをなくす30の方法

田中優 櫻田秀樹 マエキタミヤコ / 編

身近なものにかくれている世界の事情。

自分の暮らしと世界の人々や環境と関連付けて想像したことはありませんか? 食べ物や衣服が安く手に入る仕組みの中に、人身売買が介在しているかもしれない、あるいは産地の環境を悪化させているかもしれない…。執筆者の方々が目にした世界各地の現状を知ることが、世界の豊かさにつながっていくかもしれません。



©合同出版

17 医療のこと、もっと知ってほしい
※医療(いりやく)は医(い)と療(りやく)の合成(ごうせい)語(ご)。

山岡 淳一郎 / 著

知っているようで知らなかった、医療の世界がわかります。医師のほか、看護師や救急救命士など、医療の様々な分野で働く人を紹介しながら、現場の最前線の実態や、医師不足の要因など、医療に関することをわかりやすく教えてくれます。若手県出身の後藤新平の偉業についても紹介されているので、ぜひ読んでおきたい一冊です。



©岩波書店

20 家を出る日のために

辰巳 渚 / 著

最近、なんとなくうつろな気分。あなた、自立する日。想像してみてください。

日々の生活に、何か満たされないうものを感じるようなら、それは「自立したい」という、あなたの心の叫びかもしれません。ひとりでは生きるとは、どういふことなのか。確かな充実感を得るためのヒントが、ここから見えてきます。



21 ギャル農業

藤田 志穂／著

将来に不安を感じている人も、目からウロコの連続で、勇気が出るこまちがいなし。

十九歳で渋谷に会社を起して、自らのポリシーである「ギャル」に革命をもたらした、著者の体験記です。様々な試練に立ち向かいながらも、信念のもとに突き進む、次なる彼女の目的とは。世の中、学校の勉強だけが全てではないのです。



©中央公論新社

24 世界を信じるためのメンツド

森 達也／著

人類の未来にもかかわる、重要なメッセージ。

もしかすると、あなたはメディアに洗脳されていませんか。テレビやラジオ、新聞など、今や私たちの日常生活に、必要不可欠となった様々なメディア。その知られざる実態を解き明かし、上手な付き合い方を教えてください。読んだ後、世界が違って見えますよ。

県民
おすすめ図書



22 14歳からの社会学

これからの社会を生きる者に

宮台 真司／著

本当に知りたかった答えが、きつと見つかるはず。

日々変化していく世の中を、私たちはどう生きるべきか。本当の自由とは、理想と現実の違いとは何なのか。学校では教えてくれない社会学の知識が、ふんだんに盛り込まれています。先が読めない現代社会を賢く生き抜くために、この本で免疫をつけましょう。



©世界文化社

23 席を立たなかったクローデット

フィリップ・フース／著、渋谷弘子／訳

差別はどこにいても、いつでも起るもの。

アメリカ南部の町モンストゴメリでは、一九五〇年代にも根強い人種差別が続いていました。市営バスの座席も白人と黒人に分けられ、黒人の誰もが憤りを感じていたのですが、逮捕や報復を恐れ黙って従っていました。その理不尽さに声を上げたのが、当時高校生のクローデットです。彼女の行動が、後の法改正に繋がり大きな足跡を残すのですが…。あなたの身の回りにも差別はありませんか？



©汐文社

23 伝える力

池上 彰／著

物事の本質を理解して、わかりやすい言葉で相手に向おう。

多方面で活躍中の著者が解説し、自分の思いを他者に伝える秘訣を教えてください。池上さんが今まで実践してきたことや、芸能人のケースなどについて具体例を挙げて語ってくれます。他人に自分の考えをうまく伝えるために必要なことは？今から少しずつ実践することで、コミュニケーション力をつけてみませんか？



©PHP研究所

中学生 小グループ委員会

「いわ100」に中学生の声を反映させ、選書委員による選書作業を補助することを目的に全三回実施しました。高校生A 私たち中学生の視点に立って、等身大の思いを選書に反映することができました。

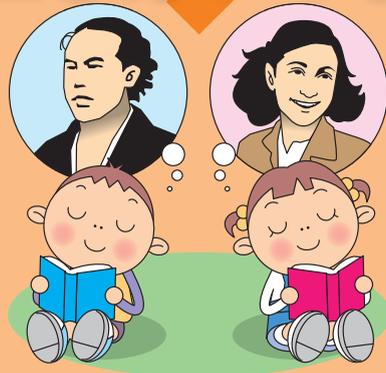
中学生A その中から、最終的に十七冊の図書が「いわ100」に掲載されています。

中学生B 中学生の垣根を越えて、本好きな人たちに囲まれた素敵な時間を過ごすことができました。



生きるヒントがここにある。

この人の 生き方から学ぶ



執筆：阿部幸子副委員長、松田素子、高橋亜彩乃（選書委員）

選書テーマ3

27 プロフェッショナル 仕事の流儀 2008-2009

NHKプロフェッショナル制作班／編

「プロフェッショナルが伝える
「明けない夜はない」」

様々なジャンルの最前線で活躍する一流のプロたち。自分流の仕事術や発想法、どん底をくぐり抜けるための方策について、熱く語っています。プロフェッショナル一人一人の真摯な考え方や生き方から、きつと「自分もがんばろう」と思える一冊です。



©ポプラ社

28 いつまでも いつまでもお元気で

特攻隊員たちが遺した最後の言葉
知覧特攻平和会館／編

「戦争に青春時代を奪われても、
未来を信じる言葉が遺された。」

知覧の美しい海から、再び還ることのない出撃の前に残された、若者たちの手紙。十八歳から二十九歳までという、青春真っ只中のはずの若者が、命を賭けて家族を、この国の未来を守ろうとしました。個人では逆らいきれない戦争という暴力に直面し、決して諦めず、自分たちの死の先にある希望を見つめていた若者たちの言葉は、今ある命を宝物だと感じさせてくれます。



©草思社

29 龍馬がゆく

司馬 遼太郎／著

「たくさんの人々との出会いが、
龍馬を英雄へと押し上げた。」

維新期の英雄坂本龍馬。その龍馬も、生まれつき英雄だったわけではありません。多くの人との出会ひの中で、魅力を磨きあげ、英雄となっていくのです。遠い海の彼方へ思いを馳せ、希望に満ちた未来の日本の形を夢想しながらも、一人の男として恋もし、人間関係に悩みもします。司馬遼太郎が丹念にたどった龍馬の生涯、龍馬の成長と一緒に、読者も心の成長を感じられるでしょう。



©文藝春秋刊

29 宇宙から伝える心のメッセージ 瑠璃色の星

山崎 直子／著

「あきらめずに願っている夢
はかなうものである。」

宇宙に行く夢に向かってがんばり続けた十一年。ついに、その夢をかなえた宇宙飛行士の山崎直子さん。その山崎さんが、宇宙から、人間だけがもつ「不思議だと思ふ心」と「夢に向かってあきらめないで進むこと」を大切にしたいと皆さんに伝えていきます。



©世界文化社

30 ボクの音楽武者修行

小澤 征爾／著

純粋な情熱と果敢な行動力が世界に通じる道を拓く。

世界的に有名な指揮者・小澤征爾さんが、二十四歳の時に、自分の音楽を求めてヨーロッパ・アメリカをスクーターで旅した二年半の記録。音楽という果てしないゴールに向かって、がむしゃらに突き進む著者の鼓動が聞こえてくるような、みずみずしい青春の書です。



◎新潮社

31 新編イチロー物語

佐藤 健／著

不滅の大記録達成までの道のりを少年時代からたどる。

イチロー選手は、なぜあれだけの大記録を成し遂げられたのでしょうか。この本に描かれている少年時代を知ることで、その答えが解き明かされていきます。「自分の夢を実現できる人は、努力できる天才である」ということに、改めて気付かされる一冊です。



◎中央公論新社

32 まだ17歳だけど、人生って面白いと思う

岩淵 大起／著

本真出身の作者が語りかける「ありのままの強さ」とは。

この障がいがあるからこそ、今の自分がここにいる、人生を楽しむことができる…。自分の障がいと真剣に向き合い、常に前進してきた大起さん。彼の強さの秘訣は何なのでしょう。この本を読み終えたとき、自分の生き方を改めて見直したくなるに違いありません。



◎ポプラ社

33 アンネの日記

増補新訂版

アンネ・フランク／著 深町眞理子／訳

希望と祈りの言葉―隠れ家で記し続けた平和への思い

十三歳の誕生日に父親から贈られた日記帳に、十五歳になった八月一日までの思いが綴られます。ユダヤ人として生まれたというだけで、ナチスに怯えながら隠れ家に暮らし続けなければならなかった少女は、いつか戦争が終わった時に公開されることを期して、日記を書き続けました。最後まで希望の言葉が記され続ける少女の日記は、平和と生の尊さを、私達に強く訴えかけてきます。



◎文藝春秋刊

34 現代語訳 論語

齋藤 孝／著

古典中の古典が生きるヒントを教えてください。

教科書で学ぶ「論語」とは違いた楽しみを味わうことができます。孔子の温かく、刺激的で、ときには厳しく、ときにはユーモアが漂う一言一言は、現代の私たちに、人として生きる心構えを示しています。現代語訳で分かりやすく、入門書としてお薦めの一冊です。



◎筑摩書房

35 がけつぷちナースがんとともに生きる

山内 梨香／著

突然、死と向き合うことになっても、やっぱり輝いていた。

不幸はいつも他人のもので、自分にふりかかることはないと思っていなかったでしょうか。そして自分が病気になるまで、「なぜ自分が……」と感ずてしまっ。誰もがそうかもしれませんが、高橋梨香(旧姓山内)さんも、そんな普通の女性です。三十歳でがんと向き合い始め、死の恐怖や治療の辛さと戦う数年。周囲の人々の優しさ、生きることの素晴らしさ、挑戦をやめない心の輝き。読む人を励ましてくれる一冊です。



◎飛鳥新社

わくわくドキドキ!～空想(ゆめ)の世界で遊びたい～

不思議な世界を冒険できる



執筆：姉帯裕子、嶋田ひろ子、高橋亜彩乃（選書委員）
高橋 遼、藤澤陽太（小グループ委員）



©講談社

普通の高校生活とちよつと変わったアパートの下宿生活。
両親の死後、親戚に世話になっていたタ土君。早く自立したいと高校入学と同時に縁あって妖怪アパートに入居しました。そこで出会ったのは人や妖怪。登場人物(?)は多種多様ですが、タ土君が持つ疑問は多くの中高生のみならず共通するのではないのでしょうか。物語の中でタ土君を支える人々や妖怪に励まされるかもしれません。



香月 日輪 / 著



©偕成社

36
マザー・テレサ
世界のもっとも貧しい人々をたすけた、神の愛の宣教師会、の修道女、シャイロット・グレイ / 著、橋高円枝 訳
限らない愛の奉仕―現代のもっとも人道的な行為を伝える。
貧しい人を助けたいという一念で、一人で街に出たマザー・テレサ。小さなことでも、出来ることから一つ一つ始める姿に、心を打たれます。彼女の献身に多くの人々が心を動かされ、協力の輪がどんどん広がります。人間の素晴らしさを語り、希望を与えてくれる一冊。



©講談社

37
五体不満足
乙武 洋匡 / 著
「自由」とは、困難に挑戦する心を持ち続けること。
人間にとって「真の自由」とは何でしょうか。手と足を持たずに生まれついた乙武さんは、「障がい」を盾に逃げるこの世に、「強がり」で育つ」という教育方針の家庭で育ち、時にわがままになつたり、偏見という壁にぶつかつたりしながら、「自分ができること」「自分にしかできないこと」を問いかけて、「どう生きていくか」を考えます。自分の生き方をふり返るきっかけをくれる一冊です。



©リブリオ出版

38
約束の国への長い旅
篠 輝久 / 著
一人の外交官の信念と愛によって、命のビザは発行された。
一九四〇年夏、リトアニアの日本領事館に多くのユダヤ人が助けを求めました。第二次世界大戦中、ナチスに迫害されたユダヤ人難民が救われるためには、日本を通過しなければならぬ。日本・ドイツ・ソビエトの圧力に負けず、信念に従ってビザを発行した杉原千畝。人として本当に大切なことを教えてくれる一冊。

43 獣の奏者

上橋 菜穂子／著

生き物へのまっすぐな愛、勇気と希望のわくファンタジー。

闘蛇(たうだ)衆の子エリンが医師として成長する物語。波乱万丈の人生の中で、人として一番大事なものを求め続けていく姿に共感します。生き物の本来の生き方と本性の違いを知り、共生していくことの難しさと尊さ。現代のベトナムへの警鐘? 続編も出ています。



◎講談社

41 忘れられた島

ヴオルフガング・ホルバイン／著
平井 吉夫／訳

伝説のノーチラス号がよみがえった。壮大な海洋冒険物語。

十六歳のマイクは幼いころに両親と死別し、イギリスの寄宿学校で生活しています。クリスマス休暇に親友パウルの父からドイツ軍艦に招待されますが、同じ寮の友人たちと軟禁状態に置かれてしまいます。パウルの父が知っていたがっている秘密とは? ジュール・ヴェルヌの『海底二万里』を基に描かれた壮大な海洋アドベンチャーです。



◎創元社

42 1313 カ月と13週と13日と満月の夜

アレックス・シラー／著、金原瑞人 訳

ハラハラドキドキの読後は、きつと優しい気持ちになれる。

転校生のメレディスのおぼっちゃんが、カーリーに打ち明けたのは信じられないことでした。自分は老婆の姿をしているけれど、実はカーリーと同じ十二歳の少女なのだ。と。魔女に姿を変えられたということです。カーリーは一計を案じ、魔術を解こうとするのですが…。少し怖いかもしれませんが、最後まで目が離せない二冊です。



◎求龍堂刊

43 時の書(全3巻)

ギヨーム・プレヴォア／著、伊藤直子／訳
建石修志／装画・挿絵

時空のどこかに囚われた父を救え!

母の死後、古書店を営んでいた父が突然行方不明に。主人公サムは古書店の中に父の行方の手がかりを求め、秘密の小部屋を発見します。革製の赤い本、古びたコイン、そして太陽の絵が彫刻された魔法の石碑。それが過酷なタイムトラベルの始まりになったのです。時空を超える冒険をスリルと共に味わえる一冊です。



◎くもん出版

44 ハリー・ポッターと死の秘宝

J.K.ローリング／著、松岡佑子／訳
ダン・シュレンジンジャー／絵

世界中を熱狂させたファンタジー、ここに堂々完結。

ハリー・ポッターシリーズ全7巻)は、単なる魔法の物語ではなく、ハリーや、その仲間の友情や、勇敢な行動で、読んでいる人に勇気を与えたり、友情の大切さを教えてくれたりします。何巻もある長編ですが、おもしろくて読みやすいので、ぜひ、読んでみて下さい。



◎静山社

45 モモ

ミヒヤエル・エンデ／著、大島かおり 訳

「時間」の意味に、たった一人の女の子が立ち向かう。

澄んだ黒い瞳をもつ小さな女の子、モモ。彼女は「時間の花」をめぐる物語に巻き込まれてしまいます。果たして、モモは時間どろぼうから人々の時間を取り戻すことができるのでしょうか。本当の「時間」の意味と「幸せ」を学ぶことができる一冊です。



◎岩波書店

46

トムは 真夜中の庭で

フィリパ・ピアース／著 高杉一郎／訳

単調な毎日に退屈して、刺激がほしいあなたにおすすめ。

親戚のうちで休暇を過ごすトムは、真夜中に謎の時を打つ古時計に導かれ、夢と現実の間を往復する体験をします。ウィクトリア朝時代の少女との友情や「時」を旅する好奇心と感動が生き生きと伝わってきます。イギリスの田舎の情景も鮮やかに見えてきます。



©岩波書店

47

ブレイブ・ストーリー

宮部 みゆき／著

僕は、運命を変えてみせる。

魅力的な登場人物たちが、理不尽な世界の中で、精一杯生きることや運命に立ち向かう勇気を教えてくれるファンタジー作品です。巧妙な書き方で私たち読者を異世界「幻界（ウィジョン）」の独創的な雰囲気につまみ離さない作者に乾杯です。



©角川書店

48

西遊記

呉 承恩／著 中野美代子／訳

ストレス発散作用がある冒険物語。存分に楽しめます。

インドへ経典を取りに行く三蔵法師、孫悟空と仲間有名な冒険物語。知っているだけに、活字で読む醍醐味が味わえます。道中、次々に起こる難題、妖怪毒魔の攻撃に、妖術を使つて挑む活劇が、心を躍らせます。最後まで気の抜けない壮大なスペクタクルを楽しんでください。



©岩波書店
／ポプラ社

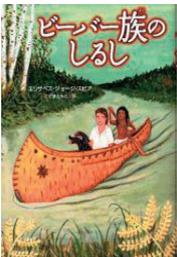
49

ビーバー族の しるし

エリザベス・ジョージ・スピアン／著 辻本まこと／訳

家族との平穏な生活に改めて気づき、愛と勇気をもらえます。

大自然の中に一人残されたマットが恐怖と孤独の中で生きていく物語。命を救ってくれたインディアンから自然と共に生きる知恵を教えられ、インディアン少年との心の交流と別れを経た後、最後のシーンは胸がきつくと熱くなると思えます。



©あすなろ書房

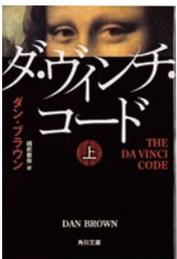
50

ダ・ヴィンチ・コード

ダン・ブラウン／著 越前敏弥／訳

バズルや謎解き、パリの景観も楽しめるミステリー。

ルーブル美術館で館長が死体で発見される。謎を追って、パリ周辺の現存する建物を主人公と一緒にめぐっているような錯覚とスピード感。ダ・ヴィンチの秘密と謎解き、同時に歴史や宗教伝説を別角度から見ると面白さを味わえます。



©角川書店

51

ともしびを かかげて

ロー・マリー・サトウクラフ／著 猪熊琴子／訳

戦いと苦悩の末に歴史が作られ、人生もつむがれていく。

サクソン軍の襲撃で家族を失い、絶望の中で勇氣と誇りを失わず生きぬいていく兵士アクイラの正義感と強い心に打たれます。ローマ帝国時代に、意志を貫き生きる厳しさと人間愛の美しさ、特にアクイラの家族に対する思いの強さに、胸が熱くなります。



©岩波書店

※「ベトナム」の語源は、フランス語で「南」を意味する「メナム」に「南」の漢字の「東」を合わせた「東南」から来るといわれています。

県民
おすすめ図書

科学の魅力を 教えてくれる

$$(a + \beta + \gamma) + (a + W\beta + W^2\gamma) + \dots + W^2\beta + W\gamma) = 3a$$

$$(a + \beta + \gamma) + (a + W\beta + W^2\gamma) + W\beta + W^2\gamma) + W(a + W^2\beta + W\gamma) = 3\beta$$

$$(a + \beta + \gamma) + (a + W\beta + W^2\gamma) + W\beta + W^2\gamma + W^2(a + W^2\beta + W\gamma) = 3\gamma$$



執筆：菊池幸子、立花律子（選書委員）
中村康志（小グループ委員）

選書テーマ5

53

へんないきもの

早川 いくを / 著
寺西 晃 / 絵 / 著

ホントにいろいろなのか？こんなへんな
の。目を見張る姿の生物ばかり。

生物の図鑑です。一見写真のよ
うにリアルな絵が添えられてお
り、口しかない生物や滑稽な姿の
生物にまず驚嘆します。見開きに
は生息環境や生態など詳しい解
説がついています。続刊もあり、
地球上にこんな未知の生物が存
在しているのかと思ひ知らされ
ます。



©新潮社

54

ファールブル昆虫記

ジャン・アンリ・ファールブル / ケンシヨート / 著

昆虫好きにはたまらない。つま
々な観察あつての細やかな描写。

ファールブルが学者としての熱
意と温かなまなざしをもって「フ
ンコロガシ」や「シダカバチ」
など、昆虫の生態をつぶさに観察
していることが文章から伝わっ
てきます。観察を通して浮かび上
がった疑問を解決するために試
みる実験にも、ワクワクさせられ
ます。



©講談社

52

おもしろくても理科

清水 義範 / 著
西原 理恵子 / 絵

走行中の電車内で跳んでも、もつ
の床に着地できちやうのはなぜ？

理科に疎い人を対象に想定し、
軽妙な書きぶりや慣性の法則、時
間、食中毒、海辺の生き物などを
説明してくれます。漫画家の西原
理恵子さんによる毒舌な挿絵が
とにかく笑えます。光村図書の中
学校国語教科書の「中学生にすす
めたい百冊」にも含まれている本
です。



©講談社

55

宇宙への秘密の鍵

ルシー・ホキング / スティーヴン・ホキング / 著
さくまゆめ / 訳

僕のペット、豚のフレディが消え
た！ジョージの冒険がはじまる。

アインシュタインに次ぐ優れ
た宇宙物理学者として高名な
ホーキング博士。この本は娘さん
との共著によるスペースアドベ
ンチャー三部作の第一作目です。
物語になっており、主人公ジョー
ジの冒険を楽しみながら宇宙に
ついての知識を深めることがで
きます。



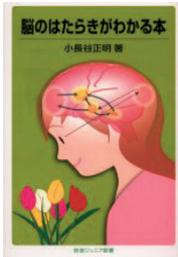
©岩崎書店

56 脳のはたらきがわかる本

小長谷 正明 / 著

目や耳で、脳が感じるからこそ、世界がある。

人間が消費する、全エネルギーの四分の一を消費している脳。その脳は、普段の何気ない行動と、どう結びついているのでしょうか。複雑な脳の仕組みについて、身近な事例や、歴史的背景などを交えながら、わかりやすく解説してくれます。



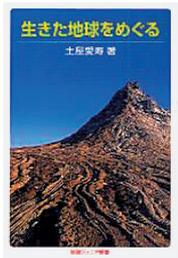
©岩波書店

57 生きた地球をめぐる

土屋 愛寿 / 著

いつの日か、自分の目で見て感じてほしい。

地震が起きるのも、温泉が熱いのも、全て地球が生きている証拠。時に、人類にとつて脅威となる地球の営みは、生きた証として、世界各地に多彩な地形を残しています。太古から連続と続く、ダイナミックな地球の歴史に、思いを馳せてみませんか。



©岩波書店

58 時間とは何か

ヨシタケ 池内 / 著
シンスケ 絵

「時間がない」と言っているあなたこそ読んでほしい。

私たちは、日々、時間を意識しながら生活しているはずなのに、改めて時間とは何かと言われると、答えられるでしょうか。そのなぞや歴史が楽しく解き明かされて、時間の大切さを感じることができ一冊です。この本をきっかけに、自分らしい時間の過ごし方を考えてみませんか。



©講談社

59 飼育係が見た動物のヒミツ51

多摩動物公園 / 著

動物園の楽しみ方が変わります。

動物たちの意外な生態や、背景を知ることができるとともに、飼育員の情熱と、動物への愛情が伝わってきます。動物園に行ったら、ただ、動物をながめて楽しむだけではなく、生態系のバランスや、環境問題についても、思いをめぐらせてみませんか。



©築地書館

60 今森光彦 ナイチャーフォト・ギャラリー 「世界の昆虫」

今森 光彦 / 著

ページをめぐるたびに、幻想的な昆虫の世界が広がります。

世界各国で撮影された選りすぐりの昆虫写真とともに、撮影時のエピソードや、昆虫にまつわる伝説など、丁寧な解説がその魅力を伝えます。図鑑の域を超えた芸術作品として、昆虫の美しく不思議な世界を、じっくり堪能してみませんか。



©偕成社

61 科学の扉をノックする

小川 洋子 / 著

科学の扉を叩いて開けたその中にこんな人達が住んでいた。

タイトル通り、作家の小川洋子さんが様々な分野の科学者を訪ね、対話した内容のリポートです。好奇心の向くまま素人の目線で質問をしています、その内容や科学者の答えを聞いて考えることがこの作家らしいと思えます。科学の世界への入口としておすすめです。



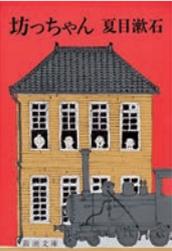
©集英社

ツボにはまって、読書にはまる。

ユーモアを味わうことができる (^_^)/



執筆：阿部幸子副委員長、立花律子、伊澤由華、三船恭太郎（選書委員）
熊谷南美（小グループ委員）



©新潮社
／岩波書店、集英社、角川書店

無鉄砲で「本気」、中学教師・坊っちゃんの痛快ストーリー！

四国の中学に赴任した坊っちゃんには口が悪く怒ってはばかり。しかし軽快な文体と共に、無鉄砲で真正直な坊っちゃんに惹かれ、赤シャツへの「憤り」も共感できます。この小説をモチーフにした、万城目学著『鹿男あをによし』（P.95に紹介）と登場人物を読み比べるのも楽しいです。

坊っちゃん

夏目 漱石 著



©メディアファクトリー

誰もが知っているようなTV番組やアニメなどの空想の話、昔からの伝説といった非現実なことが実際に起こったらどうなるかを科学的な視点で迫っていく本です。科学の話をしている本ですが、堅苦しくなくおもしろいので、科学があまり好きでなくても、どんどん読み進められます。身近な内容でわかりやすく、科学の本に触れるきっかけとしておすすめです。

特撮ヒーローから自覚し時計まで自から「ワロコ」の科学ネタ。番組やアニメなどの空想の話、昔からの伝説といった非現実なことが実際に起こったらどうなるかを科学的な視点で迫っていく本です。科学の話をしている本ですが、堅苦しくなくおもしろいので、科学があまり好きでなくても、どんどん読み進められます。身近な内容でわかりやすく、科学の本に触れるきっかけとしておすすめです。

空想科学読本

柳田 理科雄 著



©実業之日本社

「ウニコロ汚い」というイメージを持っているあなたに、必読の一冊です。環境問題から美しくなるための秘訣まで、全てウニコロにヒントがありました。そして、キレい社会の代償が、いかに大きいかわかります。たかがウニコロと侮ることなかれ。

この一冊で、ウニコロの全てをおもしろおかしく、かつ、真剣に学べます。

ウニコロ

奇藤 文平、藤田 統一郎 著

中学生編

ブックリスト 「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」

県教育委員会は、ブックリストの中の中学生のためのおすすめ図書100選を作成しています。図書選びは、県内各図書館や中学校関係者のほか、中学生も参加した選書委員会（委員長：望月清次盛岡大学）が行っています。今年のリスト完成前に、中学生の選書委員がお勧めの1冊を紹介しています。

4TEEN 著者 石田 衣良 著

坊っちゃん 著者 夏目 漱石 著

次回は1月中旬に掲載予定です。 お問い合わせ 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課 TEL 019-629-6176

平成22年12月29日付 岩手日報紙に掲載された紙面です。

科学の魅力を教えてくれる

65 オチケン!

大倉 崇裕 / 著

落語とミステリーの面白さを一緒に味わうことが出来る一冊。

略した名前が「オチケン」というだけで、廃部寸前の落語研究会に入部させられた越智健一。部室争奪をめぐるサークル間の陰謀に巻き込まれますが、落研のために果敢に行動を始めます。落語にはあまり興味がない人でも、最後まで笑いながら、読んでしまえます。



66 ショート・トリップ

森 絵都 / 著

癒しや潤いを味わえる48の旅にまつわる物語。

中学生新聞に連載された、どこにもありそうで、とつても不思議な世界を味わえる一冊です。一つ一つの物語がわずか数ページに分かりやすい文体でまとめられているので、とても読みやすく、どんどん読みたい気持ちがかかります。みなさんも、不思議な世界にトリップしてみませんか。



©集英社文庫

68 佐賀の がばいばあちゃん

島田 洋七 / 著

人生は総合力。心の持ちようで楽しく生きられる。

がばいばあちゃんの頌知のきいた一言一言に、最初から最後まで笑いつばなして読んでしまいます。ばあちゃん語録から、発想の転換で人生は楽しめるということが伝わってきます。どんな困難にもどんと構えて、笑いとばしていけるような元気がもらえる一冊です。



©徳間書店

69 ボタニカル・ライフ

いとうせいこう / 著

筆者があらゆる植物に注ぐ、真剣な愛情が可笑しさを誘う。

第十五回講談社エッセイ賞受賞作品です。著者はもともと編集者や演出家など多方面で活躍した人物です。美しいアマリスに一目惚れし、結婚したいと思うほど溺愛したり、観葉植物を一鉢買うのにひどく葛藤したり。植物との生活が面白おかしく綴られています。



©新潮社

67 フライ、 ダディ、フライ

金城一紀 / 著

強い気持ちがあれば、人はひと夏で変わることができる。

傷つけられた娘の復讐に燃え、強い父親になるために、高校生に弟子入りしたひと夏の物語。思わず笑ってしまう心憎いセリフとぐいぐい引き込まれるストーリー展開で、一気に読み進めてしまいます。ひた向きに頑張れば自分を超えられる、そんな気分になる一冊です。



©角川書店

70 あらしのよるに シリーズ

木村 裕 / 著
あへ 弘士 / 絵

普通、出会うはずのないヤキとオオカミの奇跡の友情物語。

嵐の夜に出会うはずのない二匹が小屋に泊まり合わせ、その後二匹は一緒に旅に行くという話です。とても話の展開がおもしろく、次から次へと読みたくなると思います。また、この二匹の友情の素晴らしさに感動すると思います。あなたも読んでみませんか。



©講談社

74
星新一
ショートショート
1001
星新一／著

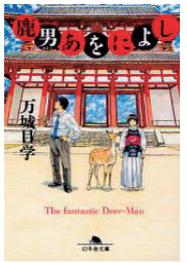
突飛な設定、思いがけない結末。ブラックユーモアたっぷり。星新一の短編集。他の星や近未来の設定が多く、数行で別世界に引きずり込まれます。どの作品にも独特のユーモアが込められていて、にやりと笑えます。最後のどんでん返しで思わすつなり、実は現代社会と重なることに気づかされる作品ばかりです。



©新潮社

74
鹿男あをによし
万城目 学／著

突然鹿に話しかけられた「おれ」運び番って、目ってなんだ。奈良の女子高の教師になった「おれ」はある日突然、奈良公園の鹿に「目」「運び番」を命じられます。鹿は鎮めの儀式を行わないと日本は滅亡するとのことなのです。よくわからないまま巻き込まれていく主人公の「おれ」と生徒そして鹿との会話が笑えます。(P.31「坊っちゃん」でも紹介)



©幻冬舎

72
おもいろ
落語図書館
三遊亭 円窓／著
長野 ヒデ子／絵
繪 著

「夷限無」や「時そば」など有名な古典落語を収録しているシリーズです。斬のおもしろさを損なわず簡潔にまとめられていて、中高校生が読むにも、読み聞かせにもちょうど良い量です。伝統的な笑いがもつ品のよさや人情にぜひふれてみてください。



©大日本図書

75
生協の白石さん
白石 昌則／著

生協の「ひとことカード」の無理難題。君ならなんと回答する？ 大学生生協の「ひとことカード」に寄せられた学生たちからの質問と担当者の回答をまとめた本です。学生からの無理難題にも生協の職員という立場から離れることなく、あくまでも丁寧かつ謙虚に説明をつくす白石さんの回答が秀逸。ユーモアのある温かな人柄が滲み出ています。



©講談社

73
チョコレート
工場の秘密
ロアルド・ダール／著
柳瀬 尚紀／訳

謎に包まれた巨大チョコレート工場見学の切符を引き当てた五人の子供たち。発明品のようなお菓子や工場で出会うユニークな人たちに、笑ってしまいます。奇想天外な出来事に次々と遭遇する子供たちは、次第に、人として大切なことは何かに気づかされていきます。

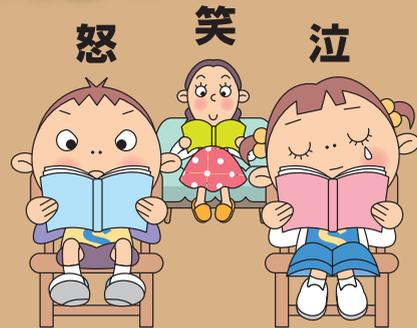


©評論社

平成23年2月6日付 岩手日報紙に掲載された紙面です。

読書の楽しみに 目覚める **ON**

選書テーマ7



執筆：高橋和宏、松田素子、伊澤由華、高橋亜彩乃、三船恭太郎（選書委員）

76 卵の緒

瀬尾 まいこ 著

心がじんわり、家族のつながり再確認。

「僕は捨て子だ。」それでも主人公、育生に母さんが見せてくれた卵の殻には、「へその緒」を超えた強い絆と確かな愛情があります。「へその緒」に甘えた虐待の二重奏を耳にする度、家族との喧嘩を後悔する度、日常の中で家族の愛情を感じる度、この小説が心をよぎります。



©マガジンハウス

79 レインツリーの国

有川 浩 著

顔を合わせていない時にはおしゃべりも弾むの……。

十年も前に読んだ本をきつかけにして、インターネット上で知り合った伸行とひとみ、メルのやり取りの中で少しずつ近づいていた二人の心は、現実の世界で顔を合わせた時、すれ違いを生んでしまいます。人と人が理解し合うことの難しさ、一筋縄ではないかない恋。けれど、理解したいと思う相手がいることはとても幸せなこと。そう思わせてくれる一冊です。



©新潮社

78 ミタカくと私

銀色 夏生 著

日常の時間の中で、大切なものは少しずつ育まれていく。

ミタカくんは女の子にモテる。幼稚園から一緒だった並子の家に、そのミタカくんはなぜか居座っている。そして家族のようにになげなく暮らしている。ドラマティックな恋なんてものがなくても、そんな日常で、もっと大切に、もっと面白いことが人の間には生まれることもあるかもしれません。詩人銀色夏生が描く、かけがえない、優しく、温かい物語です。



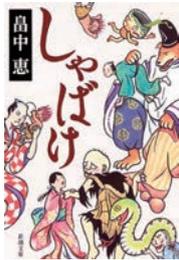
©新潮社

77 しゃばけ

畠中 恵 著

病弱な若旦那が、どこかおどけた妖たちと、江戸を駆け回る。

江戸の廻船問屋の一人息子、一太郎は、外出もままならないほどの病弱な体。一太郎を守るのは、大神・白沢・鳴家・屏風のぞきたちの妖怪。彼らが力を尽くして一太郎を守っているのに、なぜか殺人事件に巻き込まれてしまいます。守られてはかりの自分に嫌気が差し、ふりかかる困難を払いのける力を身につけようとする一太郎と共に、読者も江戸の町を駆け回ることのできる幻想捕物帖。



©新潮社

80 直筆で読む

「人間失格」

太宰 治／著

本心を隠し己を否定し続けた男の生涯。太宰の自伝的小説。

「恥の多い生涯を送って来ました」と始まる男の半生を綴った手記。読むうちに、その男と同じ内面、恐らく誰もが持っているであろう、自分の暗さや弱さに気づきます。しかし、男（太宰治自身）もしれません）に心を覗かれることで、不思議と気持ちに案になります。



©集英社新書

81 階段途中の

ビッグ・ノイズ

越谷 オサム／著

屋上への階段が活動場所。猛書にも理不尽にも、絶対負けたくない。

先輩たちの不祥事のために廃部を決められた軽音部。たった一人の後始末をする事になった啓人ですが、一度は部を去った伸太郎に引つ張られて、廃部回避のために奔走します。文化祭「田高マニア」のステージで演奏したい！その思いで、立ちほだかる困難に力強く立ち向かう啓人たち。青春とはこういうこと。読み終わったとき、きつとそう思える一冊です。



©幻冬舎

82 ぼくは

勉強ができない

山田 詠美／著

勉強よりも大切なことに気づいたんだ。それは…。

主人公の時田秀美は、サッカーが大好きな十七歳の高校生です。どこかみんなと違う価値観を持っていることで、クラスメートには人気ですが、一部先生には受け入れられない存在で…。友情・恋・家族・将来・秀美の目で見るとはどんな姿なのでしょう。タイトルの本当の意味とは何でしょうか。



©新潮社

83 夏の庭

— The Friends —

湯本 香樹実／著

読み終えて、あたたかさに包まれる…。

ひとは死んだらどうなるのだろうか。素朴な疑問から、おじいさんを観察し始めた少年たち。やがて芽生えた奇妙な「友情」と、夏の思い出。覆われ逝くものと、永遠に失われないもの。「生」と「死」をみつめ、力強く成長していく少年たちを描いた物語です。



©新潮社

84 サクリファイス

近藤 史恵／著

エースとアシストとの葛藤。予想外の結末が待っています。

自転車ロードレースの出場チームは、一人のエースを勝たせるため他の選手はアシストとしてサポート役に回ります。アシストはひたすら自分を犠牲にし、チームの優勝のため貢献します。物語は臨場感、疾走感にあふれ、最後にドラマチックな展開を迎えます。



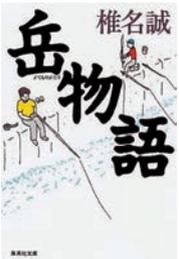
©新潮社

85 岳物語

椎名 誠／著

「おとこの目を通し、息子の少年時代を温かく見守ります。」

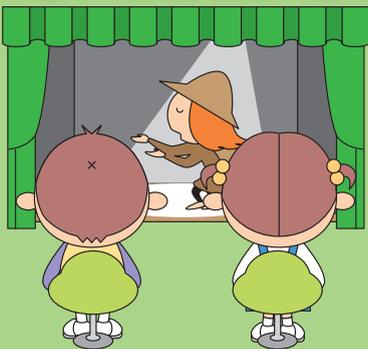
息子の名前は岳。丸坊主でケン力が強く、釣りが大好きな少年。「おとこ」は息子の成長を見守りつつ、一緒に釣りにも出かけます。自分が好きなことをすべてに優先する親子。物語には幸せな時間、ほのほとした温かい思いがあふれています。



©集英社文庫

イーハートヴ再発見 ～知ってる?この人、この作品～

岩手県の作家・舞台を読む



執筆：高橋和宏、山本正子、佐藤まゆ、三船恭太郎（選書委員）



©メディアファクトリー

私たちの街が舞台。身近な食べ物、お店がキーワードとなっています。ふたごの姉妹、翠と梢。性格が全く正反対。岩手に引越してきた二人は地元で有名なパン、コーヒー店、ソフトクリーム、じゃじゃ麺などに出合います。盛岡、花巻、宮古、そして東京を起点に物語は展開。二人それぞれの人生が情感豊かに描かれています。

88 イギリス海岸

イーハートヴ短篇集

木村 紅美 著



©小学館

信州の小さな病院で働く一止。常に医師不足であるにも関わらず、この病院は、24時間365日対応し、専門外の診療・三日連続勤務（不眠不休）は日常茶飯事。愛する妻のハルさんと過ごす時間もあまりなく……。それでも、大病院から見放された患者と精一杯向き合う医者かいてもいいはず。奇跡を起こすのは神様ではなく、きっと人。読み終わった時、心が温まる物語です。

88 神様のカルテ

夏川 草介 著

奇跡は起きる。神様なんかじゃなく、人の力が、奇跡を呼ぶのだ。



©文藝春秋刊

死神の仕事は（情報部）の指示に基づき、調査を行い、死を実行するのに適しているかどうかを判断し、報告すること。人間の不慮の事故や事件には死神が関わっている。死神の心も、時に少しばかり揺れ動きます。調査対象の人間の、この先の人生を見てみたいと思ってしまうことも。六つとの物語の最後でつながる、人と人との関わり合いに、思わずほろりとしてしまうところが多い。

87 死神の精度

伊坂 幸太郎 著

死神が冷酷非情？時には、迷う死神もいるのです。



©扶桑社

九州で生まれ育った「ボク」は、オカンの愛情を一身に受けて成長します。東京に出たあとも心配のかけ通し。オカンも東京に出てきて一緒に暮らしますが、やがて入院。看病する病室から東京タワーが見えました。オカン、そしてオトンへの思いを普段の言葉で切々と語ります。

86 東京タワー

オカンとボクと、時々、オトン
リリー・フランキー 著

オトン、オカン、これまでいろんな思い出をありがとう。

26年2か月
啄木の生涯

松田 十刻／著

啄木の一生を独自の視点で身近に感じることが出来る。

盛岡市在住の作家・松田十刻さんによる、知っているようで知らない石川啄木の生涯。堅苦しい研究書ではなく、美化された伝記でもない、等身大の啄木の評伝。読後は、郷土の先人をより身近な存在として感じられることではじめ。



©もりおか文庫

宮澤賢治愛のうた

澤口 たまみ／著

賢治の恋の詩をもとに、恋愛について思いをめぐらせる。

生涯独身を貫いた宮澤賢治。相思相愛の恋愛は、なかったとされていきます。でも本当にそうだったのでしょうか？作品の中に封じ込められたいくつかの手がかりから導き出される、秘められた恋のお相手とは？ミステリーを読む解くような面白いです。



©もりおか文庫

屋上ボーイズ

阿部 曉子／著

高校生ならきつと共感できる。あつい友情小説。

花巻市在住の新進作家・阿部曉子さんのデビュー作で、コバルト「ロマン大賞」受賞作。ファンタジーや恋愛ものではありませんが、高校生のあつい友情を鮮やかに描いています。中高生のみならずには、「あとがき」に書かれた著者の高校時代のエピソードもぜひ読むことをおすすめします。



©集英社

虹色ほたる

— 永遠の夏休み —

川口 雅幸／著

あなたにとってかけがえのないものは何ですか。

今は亡き父との思い出の山奥のダム。訪れていた小六のユウタが、タイムスリップした一九七〇年代の村で見たもの。それは、泣きたくなるほど懐かしく美しい景色や世界でした。信じられない事が続いていくけれどグイグイと引き込まれていく感動の物語です。



©アルファポリス

銀輪の覇者

斎藤 純／著

自転車賞金レース。参加者の思惑をばらみ物語は加速する。

昭和九年、下関から津軽半島までの本州縦断自転車レースが、物語の舞台です。多彩な参加者同様に、背景や思惑も様々です。レースシーンを縦糸に横糸や斜め糸、物語の糸は複雑に絡みます。友情に胸が熱くなり、登場人物の息遣いや、ペダルを踏む感触が伝わります。



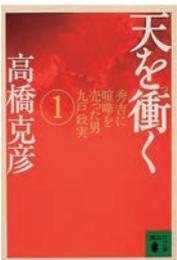
©早川書房

天を衝く

高橋 克彦／著

地元の武將九戸政実の活躍をダイナミックに描いた歴史小説です。

十六世紀末、岩手県北で「九戸政実の乱」を起こした武將九戸政実の活躍、雄姿を描きます。政実は「九戸党」という武士集団を率い、敵対する南部信直、豊田秀吉軍と対決します。生き生きとした人物描写、めまぐるしく変化する展開にどんどん引き込まれます。



©講談社

96 踊るジョーカー

北山 猛邦／著



©東京創元社

頼りない探偵が最後には事件の謎をすっきり解き明かします。

五つの事件に五つのキーワード。トランプ、時計、カメラ、チョコ、雪だるま。事件現場に残された証拠をもとに、気が弱く引きこもりがちな名探偵・音野順が事件のからくりを明快に解き明かします。あなたも名探偵と一緒に謎を解いてみませんか。

97 村長ありき

沢内村 深沢 鼠雄の生涯

及川 和男／著



©れんが書房新社

道のないところに道を作った人。信念の強さ、ゆるぎない姿に感動。

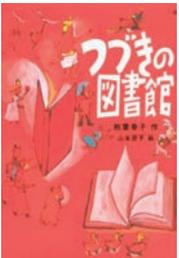
長い間、豪雪、貧困、無医療に打ちひしがれてきた旧沢内村（現・西和賀町）。「村びとの生命を守るため私は命をかける!」。深沢村長は幾多の苦難を乗り越え多くの村民の命を救います。強い信念とゆるぎない姿勢は、村に希望の灯をともしました。

98 つじぎの図書館

柏葉 幸子／著
山本 容子／画

不思議なできごとに、巻き込まれてしまいますが…。

盛岡市在住の児童文学作家・柏葉幸子さんの「小学館児童出版文化賞」受賞作。絵本を読んでくれた子どもの「その後」を知りたくて、突然本の中から飛び出してきた「はだかの王様」。新米司書・桃さんの身に次々起きるちょっとな不思議な出来事。ラストは温かな気持ちになります。



©講談社

98 ユタと不思議な仲間たち

三浦 哲郎 著



©新潮社

ユタが出会ったのは座敷わらし。ひと夏の体験で大きく成長します。

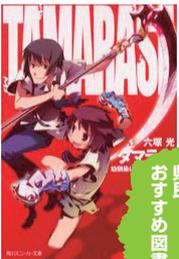
ユタは東京生まれのやせっぽちな小学六年生。お母さんのふるさとで九人の座敷わらしと出会い、仲良くなります。不思議な呪文「ワダワダ、アゲロジャ、ガガイー!」。辛い生い立ちの仲間とさまざまな体験を経て、ユタは強くたくましく成長していきます。

100 タマラセ

六塚 光／著

一関がモデル。ギャグあり、ちよっとした謎解きあり。

著者である六塚光さんの出身地一関市をモデルにした架空の町が舞台のライトノベルで、第九回スニーカー大賞優秀賞受賞作。「タマラセ」という特殊能力をもつ人々がメインキャラクターの、ドタバタ学園バトルもの。小気味良い文章と、きめ細かい構成が魅力です。



©角川書店

中高生おすすめベスト5



きょうちゃん 岩手の中高生のベスト5を紹介します。

しんちゃん 県内の中学校や高等学校のベスト5を集計した結果、表のようになったよ。

きょうちゃん シリーズ化され、長い間読まれている本がランクインしてる。

しんちゃん 映画やドラマ化された本に人気が集まっているようだね。

中学生ベスト5		高校生ベスト5	
1	バッテリー (あさのあつこ／著)	告白 (湊かなえ／著)	
2	カラフル (森絵都／著)	バッテリー (あさのあつこ／著)	
3	都会のトム&ソーヤシリーズ (はやみねかおる／著)	ハリ・ポッターシリーズ (J・K・ローリング／著)	
4	ダレン・シャンシリーズ (ダレン・シャン／著)	恋空 (実業／著)	
5	ほくらの七日間戦争シリーズ (宗田理／著)	一瞬の風になれ (佐藤多佳子／著)	
		余命一ヶ月の花嫁 (TBS 札幌報道局／著)	

「いわての中高生のためのおすすめ図書100選(いわ100)」完成までの歩み



8月21日(土) 第1回小グループ委員会
テーマごとの選書作業

9月26日(日) 第2回小グループ委員会
書評の執筆分担、執筆開始

10月30日(土) 第3回小グループ委員会
表紙・構成の検討



10月30日(土) 第3回小グループ委員会
表紙・構成の検討

<選書委員会>

- 委員長: 望月 善次 (盛岡大学 学長)
- 副委員長: 阿部 幸子 (花巻市立八重畑小学校 校長)
- 委員: 姉帯 裕子 (一戸町立図書館 司書)
- (50音順) 阿部 暁子 (作家)
- 菊池 幸子 (県立図書館 主事)
- 嶋田ひろ子 (宮古読み聞かせの会「どうさんのミミ」代表)
- 高橋 和宏 (柳岩手日報社 広告局長)
- 立花 律子 (二戸市立福岡中学校 教諭)
- 松田 素子 (県立不来方高等学校 司書教諭)
- 山本 正子 (柳東山堂 営業本部マネージャー)

<小グループ委員会>

- ★岩手大学教育学部附属中学校
 - 三船 恭太郎 (2年)
 - 照井 涼香 (3年)
 - 中村 廉志 (3年)
- ★盛岡市立飯岡中学校
 - 佐藤 まゆ (3年)
 - 藤澤 陽太 (1年)
 - 熊合 南美 (1年)
- ★県立水沢高等学校
 - 高橋 亜彩乃 (2年)
 - 及川 美樹 (2年)
 - 高橋 遥 (2年)
- ★県立盛岡第四高等学校
 - 伊澤 由華 (3年)
 - 小泉 春菜 (3年)
 - 高谷安希子 (3年)

・小グループ委員会の中から○印の生徒が選書委員として会議に出席しました。



県民により推薦いただいた 県民おすすめ図書

県民のみならず、中高生に読んでほしい「おすすめの一冊」を募集したところ、たくさん推薦が寄せられました。

きょうちゃん 男女問わず、幅広い年代から、熱いメッセージとともに紹介いただいているわね。

しんちゃん 昔から読み継がれている作品に加えて、岩手にゆかりのある作品が多いね。

きょうちゃん・しんちゃん

「ご応募いただいたみなさん、本当にありがとうございます。また、「いわ100」に掲載した図書を推薦いただいた方々のコメントを紹介します。」

24 世界を信じるための のメンソッド

森 達也 著
メディアなしで生きられない現代におけるメンソッドとの関わり合い方を分かりやすく解説しています。なぜ「完全に中立的な報道」がでないのかという説明等、見事な解説力に納得させられます。筆者はオウム真理教報道で一躍有名となり、他にも多数の本を書いています。

38 約束の国への 長い旅

篠 輝久 著

第二次世界大戦中、ナチスに迫害されるユダヤ人六千人に、日本の通過ビザを発行して命を救った日本人外交官 杉原千敏(ちうへん)の苦悩に満ちた活動の記録です。追いつめられた状況の中で、身の危険を顧みず信念を貫く姿は、「自分だったらどうするか」ということを考えさせられます。(藤沢町 千葉孝一さんからの推薦)

51 ともしびを かかべて

ロイ・サトウケフ 作 猪熊孝ノ訳
舞台は、二世紀のブリテン。ローマ軍の若き兵士アケイラが陥つ「推橋」島の中で彼を支えたのは、人とと絆の誇りでした。歴史小説の醍醐味を存分に味わって下さい。孤独を感じたり、気が充満している時じっくり読んでほしい大作です。(盛岡市 高橋美知子)

97 村長ありき 沢内村 深沢威雄の生涯

及川 和男 著

約五十年前の豪雪の沢内村。全国に先駆け老人医療費の無料化を実施し、全国で初めて乳がん死亡率ゼロを達成した村です。深沢威雄(まさお)村長の命への執着、思い、数々の障壁を乗り越えていく姿、それを支える村の人々。これからは一つ一つ、沢内村に生かされてもよい一冊です。(盛岡市 鈴木美成)

100 タマラセ

六塚 光 著

一関市がモデルのライトノベルです。地名や学校など、わりとそのまま使ってきました。地元の人には、やりとることに誇り合い(笑)。低空飛行なギャグと、うつつとした謎解きもありおすすめです。(一関市 松本瑞穂さん)

選書委員・小グループ委員から

「いわ100」を手にする中高生のみなさんへ



心を込めて、読書の楽しさが伝わる本を選びました。素敵な本たちが、まじりあふれた出会いの待っています。この「いわ100」を通じて、読書の輪が広がってほしいことを願っています。

阿部 幸子

今回、テーマ2と4を担当しました。実用書と物語、中高生の皆さんの将来に、また、多忙な毎日の空き時間に読みたいなあと思います。

姉帯 裕子

一冊の本との出会いが、私を物書きにしました。今でもその本は私の大切な相棒です。どうかこの「いわ100」が、中高生のみなさんと巡り合えたらいい一冊に出会いの場となりますように。

阿部 暁子

もっと若い時に読みたかったと思う本が、たくさんありました。この小さな「いわ100」が、一冊でも多くの本に出会うきっかけになって、中高生の皆さんに、大きな感動を届けるところができれば嬉しく思います。

菊池 幸子

選書用に読んだ本の中に言読んだ本もあり、今読むと感方が違ったりしました。感性が鋭い頃にもっと吸収しておけばよかった。時代の感性は、読書の喜びを血肉に変えようと再認識しました。

嶋田ひろ子

寝る前が私の読書タイム。寝床に入り、メガネをはずし、文庫本を読み始めます。このひとときが最高。1日のある日、疲れが抜けていきます。読書の効用はこれに尽きます。

高橋 和宏

題字が気に入った、表紙の装丁が好き、そんな理由からでよいのです。まずは本を手に入れてみるのだからはじめましょう。百冊の中に、君との出会いを待っている本がきっとあります。

立花 律子

今の皆さんが思うより、十代はかけがえのない時です。今この大切な時に生涯の宝物となる本に出会えれば、きっと、人生の一步一歩が、確かなものとなるでしょう。

松田 素子

人々の大いに出逢い、そしてよい本との出会い。本から得られるであろう読後感。本を読んで学ぶこともいっぱいあると思います。自分にとっての本をまずは一冊探してみてください。

山本 正子

初めて手にする本。繰り返し読んでいる本。ほんとも自分の中に新たな風を吹き込んでくれます。笑って泣いて考え、心が揺れる。風を運ぶ百冊が、開かれる日を待っています。

三船恭太郎

私は、この「いわ100」作りに関わった事を本当に嬉しく思います。これをきっかけにより多くの若手の中高生が読書をして、そこから何かを学び、感じてくれればと思います。

照井 涼香

今回、「いわ100」の作成に関われたことをとてもうれしく思います。自分もこのブックリストから「私の一冊を見つけよう」さらにはたくさん本に出会いたいのです。

中村 康志

本の世界に浸ると、思わぬ事発見や共感に心が揺れる事があります。抱えていた悩み、解決の糸口に出る事もあります。心の支えになる本に繋がったため、皆さんも本を手にとって欲しいと思います。

佐藤 まゆ

ぜひ、「いわ100」を見ていただき、自分が読みたいと思った本を見つけて、それを読んでほしいのです。そして、本に対して、もっと興味を持ってもらいたいと思います。

藤澤 陽太

本を読むのが苦手な人も、自分が興味を持った本を、主人公になったつもりで楽しみながら読んでほしいのです。そして、たくさんの人に本のおもしろさを知ってもらいたいのです。

熊谷 南美



私は、この活動を通して読書の魅力を再発見することができたと感じています。本は人生を変える力があります。より多くの人が、素敵な一冊と出会い、下されば嬉しいです。

高橋亜彩乃

同年代の私たちのおすすめのなので、知っている本もあると思います。この「いわ100」を活用して、気になった本を見つけ、読書の世界を広げてほしいです。一緒に楽しみます。

及川 美樹

自分本が好きだということ、この活動を通して改めて感じることができました。たくさん人の手にとってもらい、活用してもらうことで、本が好きになる人が増えて欲しいです。

高橋 遥

この「いわ100」が、本との出会いを広げてくれることを願っています。読書が好きになる人も苦手な人にも、きみの一冊、二冊、三冊：が見つけられますように！

伊澤 由華

選書委員として活動し、貴重な経験をすることうできてよかったです。中高生には、この「いわ100」を見て、より読書に励んでもらいたいと思います。

小泉 春菜

今回、小グループ委員として、「いわ100」の作成に携われたことで、自分の中での本の大切さを再認識することができました。貴重な経験ができて、本当に良かったです。

高谷安希子

読んでくれませんか？

この頃、中学生はほとんどの人が読書をする人ではないかと、私は思っていました。その頃、私は読書の大切さを、友人に語り、小グループ委員として活動し、貴重な経験をすることができました。貴重な経験ができて、本当に良かったです。

高谷安希子

「12歳の空」は、中学生の心に響く、大切な一冊です。ぜひ読んでみてください。

三船恭太郎著「12歳の空」

必ず晴れる日が来る

紺野 美沙子

12歳の空

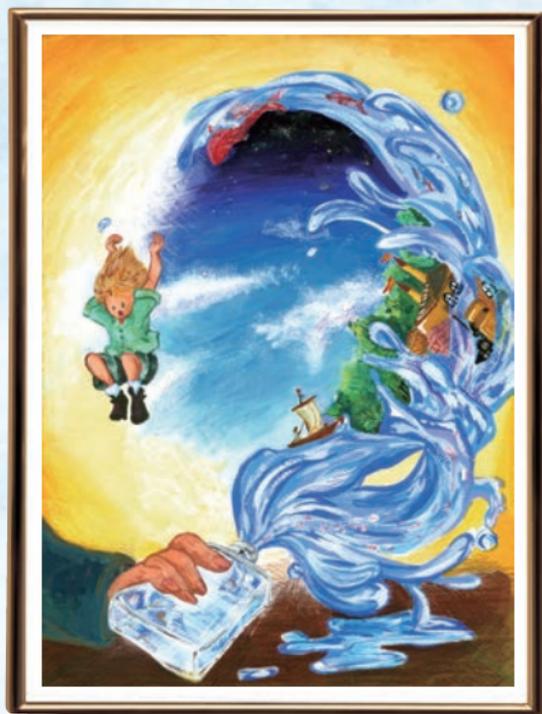
三船恭太郎著「12歳の空」

「12歳の空」は、中学生の心に響く、大切な一冊です。ぜひ読んでみてください。

平成22年12月5日付岩手日報紙面転載「12歳の空」(三船恭太郎委員著)への女優紺野美沙子さんの書評

※「いわ100」に関する感想や意見をお寄せください。

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課あてに、FAX、郵送またはE-mailでお待ちしています！



表紙絵／佐々木 れいら
(県立大船渡高等学校2年)

第22回読書感想画岩手県コンクール最優秀賞受賞者

この絵では、たくさんの積み木を描いています。これらの積み木の中には、いろいろなお話の世界が詰まっています。心踊るハロウィンや遠い外国の物語ー。これまでに読んだ好きなお話を思い出してデザインしました。読書の楽しさが少しでも伝わればいいなと思っています。

裏表紙絵／佐々木 優真
(県立大船渡高等学校2年)

第22回読書感想画岩手県コンクール優秀賞受賞者

この絵を制作するにあたり、読書によって得られるたくさんの知識や面白さなどが、自分の中にあふれてくる様子をイメージしました。そして、そのことをビンの中から溢れ出る水で表しました。さらに、画面が楽しくなるように、船や魚などを配置しました。
(学年は2011年2月時点のものです。)

- ◇発行年月 : 2013年3月
◇発行者 : 岩手県教育委員会(生涯学習文化課)
〒020-8570 盛岡市内丸10-1 県庁10F
TEL 019-629-6176 FAX 019-629-6179
E-mail DB0005@pref.iwate.jp
◇編集 : 「いわでの中高生のためのおすすめ図書100選」選書委員会
◇制作協力 : 東山堂書店 岩手日報社 日外アソシエーツ
◇印刷・製本 : 川口印刷工業
※2011年2月に発行したものを一部加筆修正したものです。

名前